

全身疾患のリスクファクターとしての歯周疾患

歯周炎のポケットには細菌が多く存在し、細菌や炎症性物質が歯周組織から全身に流れることがあります。

成人の歯数は28本～32本（含智歯）で5mm以上の歯周ポケットのある炎症部位の総面積は約70cm²位になります。つまり手のひらくらいの感染部位があることになります。

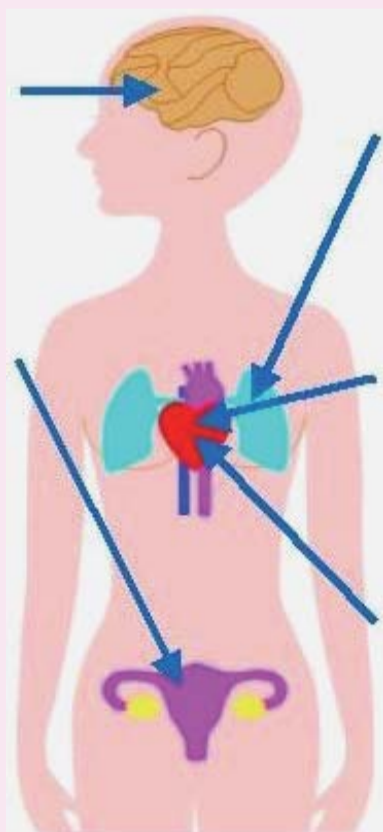


1. **脳梗塞** 重度の歯周病がある場合は、歯周病のない人に比べて脳梗塞を発症する危険が高いことが報告されています。

2. 低体重児出産

病をもつお母さんは、健康なお母さんに比較して低体重児出産の可能性が高くなると報告されています。

3. **糖尿病** 糖尿病が歯周病を悪化させることは以前から報告されてきましたが、現在では、歯周病が糖尿病を悪化させるという、相互の影響が指摘されています。歯周病の治療をすることで糖尿病患者における血糖コントロールが改善されたという報告もされています。



4. **誤嚥性肺炎** 高齢者、特に寝たきりの方など体力が減弱している人は、嚥下機能も弱っているため、歯周病原菌などが肺に進入して肺炎を起こす危険が高くなることが報告されています。

5. **細菌性心内膜炎** お口の中の歯周病原菌は組織に対して付着能力も高いものもあるため、心臓の弁やその周囲に感染して心膜炎を起こす危険が高くなることが報告されています。

6. **狭心症・心筋梗塞** 重度の歯周病のある人ほど狭心症や心筋梗塞などの冠状動脈硬化による心臓疾患になる危険が高くなることが報告されています。

歯周病科にご相談下さい。